



国土交通省道路局長 様

道路は、「国から地方へ」の方向性に沿って今後、住民生活に不可欠な社会資本としての道路整備はどうあるべきか、地方の声を十分に聞き、検討していただきたい。

当町のように長良川、揖斐川の二大河川に挟まれた町では、橋梁部を中心に慢性的な交通渋滞を余議されるなど地域の発展の障害となっています。

こうした中、国道21号線においては、6車線の高架にて施工予定で、用地買収も終了しているにもかかわらず、未だ整備される気配が全くありませんし、県道大垣江南線においても、道路が計画されてから36年が経過する。その整備を指折り待ち望みながら今日に至っている。

また、長良川、揖斐川に架かる橋梁も、老朽化した橋の予防対策が必要となり、今後の道路管理の充実が望まれます。

厳しい財政事情の下ではありますが、渋滞対策、日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備等、真に必要な道路の整備・管理は、計画的に地方の声を聞きながら進めていただきたい。

平成19年5月15日

岐阜県安八郡安八町
町長 小川 徳

